

Q3. 現在の養豚に従事している方をお知らせください。(〇はいくつでも) またその人数をお知らせください。

該当する人数を記入

1. 家族労働 (経営主本人、配偶者、子、孫、きょうだい、父母、祖父母等)	→	<input type="text"/>	人
2. 常勤雇員 (社員、契約社員、パート、アルバイト)	→	<input type="text"/>	人
3. 非常勤雇員 (必要な日、必要な時間で雇用)	→	<input type="text"/>	人
4. その他 (豚肉加工・販売など担当)	→	<input type="text"/>	人

Q4. 現在、農場の人員は足りていますか? (〇はひとつ)

1. 人員は足りている	2. 人員は足りていない
-------------	--------------

Q5. 後継者についてお知らせください。(〇はひとつ) また後継者や対象者のいる方は年齢をご記入ください。

1. 後継者は決まっている	→	後継者の年齢	<input type="text"/>	歳
2. 対象者はいるが、現在は決まっていない	→	対象者の年齢	<input type="text"/>	歳
3. 自分の年齢が若いので考えていない				
4. 後継者はいない・後継者は考えていない				
5. 経営形態が後継者と関係ない (株式会社等)				

Q6. 経営タイプについてお知らせください。(〇はひとつ)

1. 肉豚生産	→	<input type="text" value="Q7^"/>
2. 繁殖経営	→	<input type="text" value="Q8^"/>
3. 肉豚生産・繁殖経営の両方 (一貫経営)	→	<input type="text" value="Q7^"/>

Q7. 肉豚生産について該当する箇所に農場数をご記入ください。

経営タイプ	農場形態	飼養形態	飼養豚	所有農場数	うち、他都道府県にある農場数
肉豚生産	1. 一貫生産農場			ヶ所	ヶ所
		2. マルチサイト経営	1. 繁殖	純粋種豚 ①	ヶ所
	純粋種豚+子取り用雌豚 (PS) ②			ヶ所	ヶ所
	子取り用雌豚 (PS) ③			ヶ所	ヶ所
	2. 肥育		子豚 (ウイートウフィニッシュ含む) ①	ヶ所	ヶ所
			肥育豚 (ウイートウフィニッシュ含む) ②	ヶ所	ヶ所
	3. 肥育			ヶ所	ヶ所

Q8. 繁殖経営について該当する箇所に農場数をご記入ください。

経営タイプ	農場形態	飼養形態	飼養豚	所有農場数	うち、他都道府県にある農場数
繁殖経営	繁殖		純粋種豚 ①	ヶ所	ヶ所
			純粋種豚+子取り用雌豚 (PS) ②	ヶ所	ヶ所
			子取り用雌豚 (PS) ③	ヶ所	ヶ所

Q9. 飼養している頭数の合計をお知らせください。

2022年8月1日現在の頭数を記入

飼養合計頭数		頭
--------	--	---

合計頭数が合致する様にご記入ください。

Q10. 飼養している品種別の頭数をご記入ください。(飼育している合計頭数が合致する様にご記入ください)

純粋種	品種	ランドレース (L)	大ヨークシャー (W)	中ヨークシャー (Y)	パークシャー (B)	デュロック (D)	多産系 (TOPIGS/ダンブレッド等)	その他	計
	♀頭数 (子取り用雌豚)		頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭
♂頭数 (種雄豚)		頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭
交雑種	品種	LW	WL	LW.WL 何れか	DB	BD	その他の組み合わせ	海外ハイブリッド (ハイポー/ケンボロー等)	計
	♀頭数 (子取り用雌豚)	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭
	♂頭数 (種雄豚)	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭
育成豚〔繁殖利用予定で未交配 (雌、雄) のもの〕									頭
子豚 (子豚舎、子豚豚房で飼養しているもの + 哺乳中のもの)									頭
肥育豚 (肥育舎、肥育豚房で飼養しているもの)									頭

海外メーカーの種豚についてお伺いします

Q11. 海外メーカーの種豚を導入していますか？ 導入している場合は飼育頭数をご記入ください。

※海外メーカーの種豚とは、TOPIGS、ダンブレッド、ハイポー、ケンボロー等の海外で販売されている種豚で、純粋種、交雑種を問いません。

1. 導入している (飼育している) _____ 2. 導入していない	→	種雄豚		頭
		子取り用雌豚		頭

飼養頭数・出荷頭数等についてお伺いします

Q12. 導入・出荷頭数についてお知らせください。(該当する箇所に頭数を記入)

2021年度の決算期間の総計を記入

純粋種豚導入頭数	→		頭	年間肉豚出荷頭数	→		頭
子取り用雌豚 (PS) 導入頭数	→		頭	種豚候補豚 (純粋種・F1等) の販売頭数	→		頭
肥育豚導入頭数	→		頭	年間肉用子豚出荷頭数 (販売)	→		頭
				繁殖豚 (雄、雌) 年間廃用頭数	→		頭

Q13. 繁殖成績についてお知らせください。

年間種付け頭数（1年間に種付けした母豚の全頭数）
年間総分娩頭数（1年間に分娩した母豚の全頭数）
回転数（1母豚あたりの年間平均分娩回数）
1腹当たり平均産子数（分娩頭数）
1腹当たり平均哺乳開始頭数
1腹当たり平均離乳頭数
年間離乳後事故率(事故頭数÷離乳頭数×100)

2021年度の決算期間の総計を記入

→	総	<input type="text"/>	頭
→	総	<input type="text"/>	頭
→	平均	<input type="text"/>	回転
→	平均	<input type="text"/>	頭
→	平均	<input type="text"/>	頭
→	平均	<input type="text"/>	頭
→		<input type="text"/>	%

Q14. 肉豚出荷日齢、出荷体重、枝肉重量についてお知らせください。

肉豚出荷日齢平均（生後日齢）
年間肉豚総出荷生体重（1年間に出荷した肉豚の総体重）
年間総枝肉重量（1年間に出荷した枝肉の総重量）

2021年度の決算期間の総計を記入

→	平均	<input type="text"/>	日齢
→	総	<input type="text"/>	kg
→	総	<input type="text"/>	kg

Q15. 肉豚の評価方法についてお知らせください。（○はいくつでも）

1. 日格協が実施する枝肉取引規格に基づく評価（格付）	→	<input type="text"/>	頭
2. 独自の評価基準（パッカー・ブランド化・協議会などの自主的な評価）	→	<input type="text"/>	頭
3. 評価をしていない（生体販売など）【評価していない理由下記に】	↓		
4. 評価の方法を把握していない			

Q16. 評価をしていない理由をお知らせください。

具体的な理由：

Q17. 年間上物率、年間枝肉歩留まり率について教えてください。

年間上物率（格付している豚） % 枝肉歩留まり率 %

Q18. 相対取引の実施状況についてお知らせください。（○はひとつ）

1. 相対取引を実施している	→	契約枝肉重量： 最低重量 <input type="text"/> kg ~ 最高重量 <input type="text"/> kg
2. 相対取引を実施していない		

Q19. ベンチマークに参加していますか。（○はひとつ）

1. 参加している	→	参加しているベンチマークの名称をご記入ください。（いくつでも） <input type="text"/>
2. 参加していない		

※ベンチマークとは：養豚農家から生産データなどを定期的に収集し、生産項目の優れた点、劣った点等の評価結果により、改善目標値との差異を改善することにより増収益を推定し、養豚経営の向上を行う手法を指します。

農業共済（家畜共済含む）についてお伺いします

Q20. 農業共済（家畜共済含む）の加入状況と希望する家畜共済についてお伺いします。

- 1. 農業共済に加入している _____
- 2. 農業共済に加入していない _____

Q21. 加入していない理由をお知らせください。（〇はいくつでも）

- 1. 共済掛金が高い
- 2. 加入方法がわかりにくい
- 3. 掛金に対して支払額が見合わない
- 4. その他（具体的に： _____）

Q22. どのような共済が望ましいですか？（〇はいくつでも）

- 1. 加入方法、支払額のわかりやすさ
- 2. 共済掛金を低くする
- 3. 哺乳子豚を共済対象に含める
- 4. 補償期間の延長
- 5. その他（具体的に： _____）

交配方法とAIについてお伺いします

Q23. 交配の方法についてお知らせください。（〇はいくつでも）

- 1. 自然交配のみ _____
- 2. 人工授精のみ _____
- 3. 自然交配+人工授精の併用 _____

- 1. 自然交配 1 回のみ
- 2. 自然交配 2 回
- 3. 自然交配 3 回

Q26へ

右記の回数に当てはまらない場合はご記入ください。

具体的に： _____

- 1. 人工授精 1 回のみ
- 2. 人工授精 2 回
- 3. 人工授精 3 回

Q24へ

- 1. 自然交配 1 回+人工授精 1 回
- 2. 自然交配 1 回+人工授精 2 回
- 3. 自然交配 2 回+人工授精 1 回

Q24へ

Q24. 【Q23で人工授精をしている方へ】人工授精における深部注入の実施についてお知らせください。（〇はひとつ）

- 1. 全て深部注入で行っている
- 2. 深部注入と普通の人工授精を併用している
- 3. 深部注入は行っていない
- 4. 深部注入は行っていないが、今後検討したい

Q25. 【Q23で人工授精をしている方へ】人工授精における精液の入手方法についてお知らせください。（〇はひとつ）

- 1. すべて自家採精
- 2. すべて外部（公的試験場・AIセンター）導入
- 3. 自家採精と外部導入を併用

飼料についてお伺いします

Q26. 飼料の給与形態についてお知らせください。(○はひとつ)

- | |
|--|
| 1. 市販配合飼料のみ（配合割合等を指定してメーカーに配合させたものを含む） |
| 2. 市販配合飼料 + 自家配合飼料 |
| 3. 自家配合飼料のみ（丸粒トウモロコシ単味飼料やエコフィード等の飼料原料を調達して自ら配合・調整したもの） |

Q27. 現在使用している飼料をお知らせください。(○はいくつでも) また、使用飼料の年間使用量をご記入ください。

2021年度の決算期間の総計を記入

配合飼料	1. 配合飼料	→		t				
	2. エコフィード※利用配合飼料	→		t	→	うちエコフィードの配合割合		%
	3. 飼料用米利用配合飼料	→		t	→	うち飼料用米の配合割合		%
単味飼料	4. 飼料用米	→		t				
	5. 国産子実用トウモロコシ	→		t				
	6. エコフィード（食品製造副産物等）※	→		t				
	7. エコフィード（厨芥残さ等）※	→		t				
	8. その他の単味飼料	→		t	→			

単味飼料内容を記入		
飼料名：		t

【記入上の注意】

※ エコフィードとは、食品残さを原料として、加熱乾燥、発酵、液状化（リキッド）等の加工処理により飼料化したものです。

※ 「エコフィード（食品製造副産物等）」とは、食品工場から排出される食品製造副産物（パン屑、とうふ粕等）、スーパーやコンビニ等から排出される余剰食品（賞味期限切れ弁当等）、農場残さ（規格外野菜等）を飼料として活用しているものを指しています。

※ 「エコフィード（厨芥残さ等）」とは、飲食店等から排出される調理残さ（カット野菜屑等）、家庭や食堂等から出た食べ残し等を飼料として活用しているものを指しています。

注）米ぬか、ふすま、油かす、ビートパルプを使用している場合には「その他」に記入願います。

注）MA米を使用している場合には、「その他」に記入願います。

4に○をした方はQ28へ
それ以外の方はQ34へ

Q28. 【飼料用米を利用している方へ】飼料用米の今後の利用意向についてお知らせください。(○はひとつ)

1. 飼料用米の利用を継続・拡大したい	→	希望数量		t/年
2. 飼料用米の利用を減らすか中止したい	→	理由		

Q29. 【飼料用米を利用している方へ】飼料用米の買取価格についてお知らせください。

飼料用米の買取価格

西暦 年 月 時点

円/kg

Q30. 【飼料用米を利用している方へ】飼料用米の加工についてお知らせください。(○はひとつ)

1. 飼料用米は自社で加工している	→	Q32へ
2. 飼料用米は自社で加工していない		

Q31. 【飼料用米を利用している方へ】飼料用米の加工委託・価格についてお知らせください。(○はひとつ)

1. 加工費を買い取り価格に含む	→	加工費：	<input type="text"/>	円/kg
2. 加工費を買い取り価格に含まない	→	加工費：	<input type="text"/>	円/kg

Q32. 【飼料用米を利用している方へ】飼料用米の仕入れ先をお知らせください。(各○はひとつ)

1. 生産者から直接仕入れ	→	1. 県内	2. 県外	3. 県内・県内両方
2. それ以外				

Q33. 【飼料用米を利用している方へ】飼料用米の輸送費の負担についてお伺いします。(○はひとつ)

1. 飼料用米の輸送費を負担している	→	輸送費：	<input type="text"/>	円/kg
2. 飼料用米の輸送費を負担していない				

Q34. エコフィードについてお知らせください。(○はいくつでも)

1. 食品残さ(食品製造副産物、余剰食品等)を加熱し、リキッド(液状)にして給与している	}	→	Q35へ	
2. 食品残さ(食品製造副産物、余剰食品等)を加熱し、ドライ(乾燥状態)にして給与している				
3. 加熱の必要のない食品残さ(食品製造副産物、余剰食品等)を集め、リキッド(液状)にして給与している				
4. エコフィード(パン屑、菓子屑等)を含む配合飼料として給与している				
5. 食品残さ(飲食店等から排出される調理残さや家庭・食堂等から出た食べ残し等)を加熱し給与している		}	→	Q36へ
6. その他飼料化方法()				
7. エコフィードを利用していないが、利用を検討中・利用してみたい				
8. エコフィードを利用しているが、今後利用しないことを検討している				
9. エコフィードの利用の予定はない				

Q35. 【Q34で1~6と回答した方へ】エコフィードの入手先についてお知らせください。(○はひとつ)

1. 自家配合(原料を購入・回収し、自ら加工処理を行う)	→	製造コスト	リキッド	<input type="text"/>	円/kg
			乾燥	<input type="text"/>	円/kg
2. エコフィード製造事業者等から購入	→	購入価格 (輸送費を含む)	リキッド	<input type="text"/>	円/kg
			乾燥	<input type="text"/>	円/kg

Q36. 【Q34で7~9と回答した方へ】エコフィードを利用するに当たり、課題となっていることをお知らせください。(○はいくつでも)

1. エコフィード又はエコフィード原料の安定確保が難しい	4. 製造施設や機器の導入に課題がある
2. エコフィードの原料の排出事業者が近隣にない	5. その他()
3. エコフィードの飼料設計等調整技術に課題がある	6. 特に課題はない

Q43. 今後の経営動向についてお知らせください。(○はひとつ)

- 1. 規模拡大予定
- 2. 増減なく、現状を維持していく
- 3. 規模縮小予定

Q46へ

Q44. 規模拡大について。(○はひとつ)

- 1. 今年中に規模拡大を計画している
- 2. 4年以内に規模拡大を計画している
- 3. 具体的な計画はないが、規模拡大を検討したい

Q45. 規模縮小について。(○はひとつ)

- 1. 今年中に規模縮小を計画している
- 2. 4年以内に規模縮小を計画している
- 3. 具体的な計画はないが、規模縮小を検討したい

豚肉生産に関する意識について

Q46. どのような豚肉生産を目指していますか。(○はいくつでも)

- 1. 実需者のオーダーに基づき生産
- 2. 脂肪交雑の良いものなど特色ある豚肉生産
- 3. SDGs※やアニマルウェルフェアへの配慮など消費者の多様な価値観に対応した生産
- 4. 品質を保ちながら低コスト生産
- 5. 消費者ニーズは把握しているが、豚肉生産の上では特に対応していない(できていない)
- 6. その他(具体的に:)
- 7. あてはまるものはない

※ SDGsとは:「持続可能な開発目標」の略で、経済・社会・環境の3つの側面のバランスがとれた社会を目指す世界共通の目標。畜産分野では、環境負荷低減、持続的な食料システムの構築、及びこれらの消費者への理解醸成の推進などが該当します。

Q47. 上記の豚肉を生産するために、どのようなことに取り組んでいますか。(○はいくつでも)

- 1. 飼料を工夫している
- 2. 種豚の血統・交配方法を工夫している
- 3. 飼養管理方法を工夫している
- 4. その他(具体的に:)
- 5. 特に取り組んでいることはない

環境対策についてお伺いします

<悪臭苦情についてお伺いします>

Q48. 悪臭苦情について過去1年間にあてはまるものをお知らせください。(○はひとつ)

1. 過去1年以内に悪臭苦情を住民等から直接言われた
2. 過去1年以内に悪臭苦情を県・市・町・村等行政を介して言われた
3. 過去1年以内に悪臭苦情をその他方法で言われた
4. その他(具体的に:)
5. 過去1年以内に悪臭苦情はない

<ふん尿処理の方法についてお伺いします>

糞尿の処理方法について「ふん(分離処理)」「尿(分離処理)」「混合処理」の各項目に当てはまるものをお知らせください。(○はいくつでも)

Q49. A.ふん(分離処理)の方法※1

1. 堆肥化(開放式) ※2
2. 堆肥化(密閉式) ※3
3. 廃棄物として処理(処理方法不明)
4. その他(具体的に:)

Q51. C. 混合処理の方法

1. 堆肥化(開放式) ※2
2. 堆肥化(密閉式) ※3
3. 液肥化処理
4. メタン発酵処理
5. 浄化処理
6. 下水道または農業集落排水への放流
7. 廃棄物として処理(処理方法不明)
8. その他(具体的に:)

Q50. B.尿(分離処理)の処理方法

1. 液肥化処理
2. メタン発酵処理
3. 浄化処理
4. 下水道または農業集落排水への放流
5. 廃棄物として処理(処理方法不明)
6. その他(具体的に:)

※1 他者に処理を委託している場合は、委託先での処理方法を選択してください。(例えば、生ふんを堆肥センターに運び、そこで開放式の堆肥化処理をしている場合は、「堆肥化(開放式)」を選択。
なお、委託先での処理方法が不明の場合は、「廃棄物として処理(処理方法不明)」を選択してください。

※2 堆積式、通風装置つき、攪拌機による堆肥化等、密閉式処理以外のもの

※3 縦型コンポスト等、密閉式のもの

<汚水浄化処理施設についてお伺いします>

Q52. 畜舎汚水等を処理して河川等に放流（排水）するため、汚水浄化処理施設を持っていますか。（〇はひとつ）

1. 持っている 2. 持っていない

Q53. 【Q52で「1. 持っている」と回答した方へ】（〇はひとつ）
汚水浄化処理施設をこの一年で改修・新設しましたか。

1. 改修・新設した
2. 改修・新設していない

Q54. 【Q52で「1. 持っている」と回答した方へ】（〇はひとつ）
施設や機械の更新を計画していますか。

1. 計画している
2. 計画していない

Q55. 【Q52で「2. 持っていない」と回答した方へ】（〇はひとつ）
規模拡大等に伴い汚水処理施設を新設する意向がありますか。

1. 意向がある
2. 意向がない

Q56. 水質汚濁防止法の特定施設の届出をしていますか？
（〇はひとつ）

1. 届出をしている
2. 届出をしていない（不要である）

Q57. 年1回以上、水質検査をしていますか？（〇はひとつ）

1. 年1回以上、水質検査をしている Q58へ
2. 年1回以上、水質検査をしていない Q59へ

Q58. 水質検査値（1年間に複数回測定している場合は、そのうちの最大値及びその測定月を記入）をお知らせください。

1. 硝酸性窒素等※1（暫定排水基準400mg/L、適用期限：2025年6月）	西暦	年	月	実施	mg/L
2. 全窒素※2（暫定排水基準：130mg/L、適用期限：2023年9月）	西暦	年	月	実施	mg/L
3. 全リン※2（暫定排水基準：22mg/L、適用期限：2023年9月）	西暦	年	月	実施	mg/L

※1 アンモニア、アンモニア化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物（アンモニア性窒素×0.4、亜硝酸性窒素、硝酸性窒素の合計量）
 ※2 全窒素及び全リンについては、規制対象地域外の場合は、記入不要です。
 注）暫定排水基準は、段階的に引き下げられています。将来的には一般排水基準となる可能性があります。その可能性を念頭において施設の整備・管理が必要です。
 注）一般排水基準（硝酸性窒素等：100mg/L、全窒素：120mg/L、全リン：16mg/L）

アニマルウェルフェアについてお伺いします

Q59. 「アニマルウェルフェア（以下、AWという）の認知度についてお知らせください。（〇はひとつ）

1. AWという言葉を知っている又は聞いたことがある
2. AWという言葉を知らない Q62へ

※我が国では、国際的なAWの指針であるOIE（国際獣疫事務局）の指針にも則した「アニマルウェルフェアの考え方に対応した家畜の飼養管理指針」（（公社）畜産技術協会作成）を定めているところです。

Q60. 畜産技術協会発行の飼養管理指針を知っていますか。（〇はひとつ）

1. 知っている
2. 知らない

Q61. AWに配慮した飼養管理を行うに当たり、課題となっていることをお知らせください。（〇はいくつでも）

1. 課題はない 5. 飼養頭数を減らす必要がある
2. 生産コストが上がる 6. 何から取り組んで良いのかわからない
3. 農場生産性が下がる 7. その他
4. 対応する人員不足 （具体的に： ）

豚熱ワクチンについてお伺いします

Q62. 豚熱ワクチンの接種状況についてお知らせください。(○はひとつ)

1. 接種している (家畜防疫員が実施)	→	現在の接種価格	<input type="text"/>	円/頭
2. 接種している (知事認定獣医師が実施)	→	現在の接種価格	<input type="text"/>	円/頭
3. 接種していない				

Q64. 【非接種の方へ】豚熱ワクチンの接種について (○はひとつ)

1. 接種範囲に指定されればしたい
2. 接種範囲に指定されなくてもしたい
3. 接種したくない

Q63. 【接種の方へ】豚熱ワクチンの接種価格について (○はひとつ)

1. 妥当
2. 高い
3. 安い
4. その他 ()

Q65. 地域別豚熱ワクチン接種により受けた影響をお知らせください。(○はいくつでも)

1. 肉豚出荷に影響があった
2. 子豚販売に影響があった
3. 種豚販売に影響があった
4. 精液販売に影響があった
5. 種豚購入に影響があった
6. 精液購入に影響があった
7. 肥育素豚購入に影響があった
8. 県をまたぐ自社内での農場移動 (繁殖農場→肥育農場等) に影響があった
9. その他 ()
10. 影響はなかった

Q66. 豚熱ワクチンの接種に対する考え方をお知らせください。(○はひとつ)

1. 現在の接種地域の指定条件に合致する県だけ接種すれば良い
2. 全国で接種すべきである

最後に、ご意見・ご要望などお聞かせください

Q67. ご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にご記入ください。

--

アンケートは終了です。ご回答ありがとうございました。